



# 上田 よしお 市政報告



発行者:上田よしお後援会・上田よしお市政相談所 住所:茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:u\_yoshio2005@yahoo.co.jp

## 挨拶

盛夏の候、皆様にはお変わりなくご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は私、上田よしお(嘉夫)にご指導ご鞭撻を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年の夏は、全国各地で例年を上回る猛暑となっておりますが、7月には各地で猛烈な雨が降り観測史上最高を記録し、各地に大きな被害をもたらしました。また昨年(2012年)の3月11日に発生いたしました東日本大震災は未曾有の被害をもたらした上、いまだに行方不明の方がおられ、なお復興のめどが立たない状態であります。毎年のように日本列島各地で地震や異常気象が発生し被害をもたらすたびに、政府に対し早い決断と実行を持って復興に全力をあげ、1日も早く安全で安心して暮らせるための施策を政府に要望します。私も微力ではありますが復興に力を注いでまいりますので、どうぞ皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一人では微力でも何でもできませんが、そのわずかな一人一人の力が地域を作り、国を作り上げていくことを今一度心を新たに、日本中の力を結集し明日の日本の未来を切り開いてゆきたいと考えております。1年と5か月経って忘れかけているこの時期に、7月27日から始まりましたロンドンオリンピックで多くの選手が力と技を発揮し日本に元気を与えてくれております。ここ茨木からも水泳競技で吉田胡桃さん、高野綾さんが選ばれ希望と感動を与えてくれました。これからの日本社会を担う若い世代に大きなエールを送り、そして安心して暮らせる社会作りにも私も頑張つてまいります。

平成24年8月

茨木市議会議員

上田よしお(嘉夫)



## 市政報告会

市議会本会議終了後に毎回行っております、市政報告会の第25回目を3月24日(土)に行いました。議会報告に合わせて前衆議院議員原田けんじ氏をお招きし、市国政の報告を行いました。参加者からの中からは、報告会とは別に茨木の施策に関する施設の見学を行いたい等の意見があり、見学会を実施することになりました。他にも多くの方から要望や意見があり有意義な報告会となりました。皆様から頂きました要望につきましてはスピードを持って解決できるように努力してまいります。

また、第26回目を6月30日(土)に行い、市政報告とともに、自衛隊大阪地方協力本部北東地区隊長 西川猛男様に、最近の自衛隊活動についてご講演をいただきました。3・11東北大震災で人命救助に当たった時の内容と、自衛隊の組織とその活動内容について詳しくご講演をいただきました。

市政報告会では、ご要望は出来る限り市政に反映させてまいりたいと考えておりますので、どうぞ皆様、上田よしおの市政報告会にご参加いただきご意見をお寄せください。



第25回市政報告会



第26回市政報告会

## 次回

第27回目は9月本会議終了後の9月29日(土)、第28回目は12月本会議終了後の12月22日(土) いずれも14時より1時間半程度水尾コミュニティセンターで予定しております。皆様のご参加をお待ちいたしております。

## 市民相談室を開設いたしました

日頃の相談は電話やメール等で相談に応じておりますが、私は自宅を事務所にしてあります。気軽に相談していただければ嬉しいのですが、家まで行って相談するには少し気が重い、また市政報告会では時間が足りないなどのご意見がありました。そこで、気軽に地域のことや行政の内容について相談できる機会を作りました。場所は水尾コミュニティセンターで会議室を借りて月2回程度行っております。第1回目は4月28日に行いその後5回行っております。

## 相談室の今後の予定

8月14日(火)・9月1日(土)・9月15日(土)・10月1日(月)・10月15日(月)・11月1日(木)・11月15日(木)・12月1日(土)のいずれの日も午後1時30分から4時30分です。お気軽にご相談にお立ち寄りください。水尾コミュニティセンター前看板を立ててありますのでご確認ください。



相談風景

## 東奈良遺跡と銅鐸

7月28日の読売新聞(古事記1300年出雲大社大遷宮 大出雲展H24.7.28(土)〜9.9(日))に、出雲で出土した銅鐸の展示記事がありました。茨木でもたしか銅鐸が出土していることから調べたところ、阪急南茨木駅から東側一帯にある、弥生時代の大規模環濠集落の遺跡から大阪万博のときに、南茨木駅周囲一帯の大規模団地建設の際に、銅鐸およびその鑄型が発見されました。この遺跡には、二重の環濠の内部に高床式倉庫など大型建物や多数の住居があり、外部には広大な墓域もあります。発見さ

## 新市長の施策について

今年4月に木本市長が誕生しました。行政上がりの市長でなく、民間からの市長が誕生しました。今までと違った新しい考えを吹き込んで、茨木市を活力に満ちた元気の出るまちにしてもらいたいものです。私たち自由民主党・絆会派は新市長の施策方針については、是非々々の立場で取り組んでまいります。元来自由民主党員であり、以前から私たちとともに茨木のまちづくりに関して議論を重ねてきた同士である木本市長の考えと私たちの考えは、教育や地域福祉や、都市政策など殆ど同じと考えています。しかし市長と議員との立場では大きく物事の視点が変わってくるかもわかりません。二つの案件に徹底的議論を重ね市民のためになるのかならないのか結論を出してまいりたいと考えております。新市長に、期待することは市民のため行政です。市民にやさしい茨木市として未来の子供たちにとって大きな夢あるまちづくりに取り組んでほしいと願っております。そのために行政に新風を吹き込み行政の改革を推し進めます。市民のための開かれた茨木市を作るために、私は新市長と共に頑張つてまいります。

## 議会改革に取り組み

6月議会で議員定数を32人から30人に決定いたしました。議員定数の変更は議員自らが、議員提案として議会に提出し、議員自身が決めることとなつています。市長が議員を減らしたい考えがあつたとしても市長は提案者になれません。それではなぜ今議員定数を減らす議案を出したのかと言うことですが、一つは議員自身からの改革を行うこと。2つ目は人口1万人につき議員1人が先進都市または同等規模の都市と比較した場合、現状では少し多いのではとの意見があり、茨木市議会は前回の市議会議員選挙から定数削減の声が上がつてきたことから、私たち自民党・絆会派は4人の削減を議案として提出しました。

刷新市民フォーラム・公明党・民主みらい会派は2人の議員削減提案を行いました。その結果、採決に対して賛成者多数で30人に決定いたしました。来年1月に行われる市議会議員選挙から定数30となります。

また、議員報酬についても6月議会で7月から今回の議員任期中は10%の削減を行うことといたしました。今後はより議員の権能を高め市民の負託に応えられる議員が必要であります。

## 高校生が東日本大震災への 絶え間ない支援活動

茨木市民の皆様からも多くの支援活動、義援金募金にご協力いただいております。

茨木市も、市民の皆様からの物資や義援金を引き続き募集しています。大阪府立つばさ高校生が中心となつて活動している「がんばろう!つばさネットワーク」は昨年5月と12月に気仙沼市で被災地ボランティアを実施し、昨年8月には気仙沼市の高校生に心身を癒していただくとうと茨木に招待しました。また今年の5月には再びつばさ高校生らが気仙沼市へボランティアとして行き、現地の高校生と交流を行っています。高校生らは阪急茨木駅などで義援金募集活動を行い、東日本の支援にもつと協力したいと意欲を燃やしています。そこで今年も8月9日、13日にかけて大阪に招待し交流を深めることになりました。昨年と同様に高校生みずからの手で活動し気仙沼市の高校生と交流を深め、ボランティアを通して同じ世代の友人との友情が芽生え今年も実施することになりました。何かしなれば、そんな思いがつばさ高校生から生まれ、もう一度あの人たちに会つて励まし共通の話題を作りたい、その一念が実現に結びつきました。

高校生たちの、「何かしなければいけない」という支援の意識が大きくなり、つばさ高校の生徒から発信し、他の高校生にも広がっているそうです。彼らの活動に際し、多くの方がご支援及び義援金を差し伸べていただいたこと大変感謝するとともに、1日も早く先行きが見え誰もが安心して暮らせるように復興することを、私も微力ながらお手伝いできればと思います。

## 東幼稚園廃止。 そのあと保育所に決まる

保育所に入所申請をしているにもかかわらず、希望する保育所が満員である等の理由で保育所に入所できない状態にある児童数が都市部において年々増加しています。その反面幼稚園児数は1978〜1979年にピークを迎えたあとは減少傾向にあります。しかしながら保育所の在り所数は確実に増加を続けているところから、「母親のパートタイムが終わる時間まで預けてくれる保育園保育所を選択する世帯が増えている」とも想像できます。茨木市は幼稚園児の減少と待機保育児の増加に伴い平成25年10月1日より市立東幼稚園の施設を改修改良して保育園にする方針を決め民間委託としました。保育園児数は0歳児から5歳児までの総計を1330人の予定です。

## 新しい街並み

平成20年度から進められてきた、北摂つばさ高校南側の区画整理工事もほぼ完成してきました。4月から野々宮〜南茨木までのバス路線も開通し、この真砂・玉島台地区の町名も茨木市「真砂玉島台」に決まりました。4月にはコンビニエンスストアを皮切りに次々と店舗が営業を始めています。この地域は新しい街づくりとして、周辺地域の安全安心な人にやさしいまち、そして交通環境を改善し、さらに円滑な交通網の整備を目標として位置づけられています。今後はより安全対策として信号機の設定等がまだ解決していません、出来る限り早期の解決に努め、住民が快適で安

心して住み続けられ賑わいのあふれる街並みとなることを願っています。



つばさ高校前通り



宅地開発地域

## 安威川ダム本体工事決定

兼ねてから安威川ダムの早期完成を望まれている住民が多かったと思います。国は政権交代で脱ダムの方向に向いていましたが、検証の結果、安威川ダムは必要であるとの結論を出し本体工事を認めました。今後大阪府に早期完成を目指して地元住民の治水安全対策として要望を上げてまいります。

私は宇治市にある天ヶ瀬ダムとよく似た都市近郊のダムとして考えます。そこで天ヶ瀬ダムがどのようにして作られたのかを調べると、京都宇治市に巨椋池の地名があります。現在池はありません。ここは琵琶湖から流れ出る唯の河川である宇治川は、京都盆地へ流入する平等院付近から、京都盆地の西端にあった木津川、桂川との合流点の上流側にかけて広大な遊水池を形成していた。これがこの時代の巨椋池である。かつて豊臣秀吉の手で宇治川の堤防を築城したが、洪水の被害がたびたび起きたそうです。その後干拓事業が行われ農業地としていたが、1953年の昭和28年台風第13号の大洪水で宇治川の堤防が決壊した。これにより干拓前の巨椋池全域を含む2880ヘクタールが浸水し、干拓地に巨椋池が「復活」する災害が起こった。これを契機に天ヶ瀬ダムが造られ、1964年(昭和39年)に完成した。



5月25日ダム事務所にて説明を受ける

くの被害が出たことは記憶に残っています。このような被害が出ないように安威川や茨木川の改修を進めてきましたがあくまでそれらの改修はダムを作つての計画であるそうです。昨今の気象状況から見ても、何時どこで災害が起きるかもわからない状況であり一日も早い治水対策としてダムの完成をしなければならぬと考えています。

## 二十四節気

二十四節気は、太陰暦の日付と季節を一致させる為に考案されたもので、明治五年まで使用された太陰太陽暦のひとつ、天保暦もこれを使用していました。現在「旧暦」とよばれている暦はこの天保暦の規則に準拠した暦ですから、「旧暦」の日付を決定するためには、二十四節気が必要となります。この二十四節気は今でも季節の移り変わりを表す言葉として用いられ、ニュースなどでも採り上げられるのを時々耳にします。中でも立春・春分・秋分・夏至・冬至などはなじみのある言葉でしょう。春分、秋分の日のように祝日になっているものまであります。蛇足ではありますが

### 立秋(りっしゅう) 8/8頃

初めて秋の気立つがゆへなれば也(暦便覧)  
この日から立冬の前日までが秋。二年で一番暑い頃であるが、一番暑いと言ふことで後は涼しくなるばかり。暑中見舞いはこの前日まで、この日以降は残暑見舞い。

### 処暑(しよしょ) 8/23頃

陽気とどまりて、初めて退きやまんとすれば也(暦便覧)  
処暑は暑さが止むと言ふ意味。萩の花が咲き、朝夕は心地よい涼風が吹く頃だが、台風シーズンでもある。気候の変化で変わりつつも、来ないことにはしたことなし

皆様暑い夏を乗り切り楽しい秋の行楽を楽しみましょう。

## 今後の行事予定

### 市政報告会

第27回  
9月29日(土) 午後2時~

第28回  
12月22日(土) 午後2時~

<場所>  
水尾コミュニティーセンターにおいて

ご意見要望等については報告会又は相談室か電話FAXをご利用ください

電話 072-635-4976  
携帯電話 090-3868-7294  
FAX 072-635-4978